

# 地域長だより

第 25 号  
平成 15 年 11 月 18 日  
埼玉県税理士協同組合

## 目 次

10月 3日(金)	各県税協経理担当役員会議について	-----	2
10月14日(火)	あんしん財団との協議会について	-----	2
10月17日(金)	野球・ソフトボール大会について	-----	3
10月17日(金)	全税共・第29回定期総会の結果について	-----	4
10月21日(火)	第4回 県連総務部会議について	-----	5
10月21日(火)	県連福利厚生担当者会議について	-----	6
10月23日(木)	新入会員研修会について	-----	7
10月24日(金)	大宮・上尾ブロック別研修会について	-----	7
10月27日(月)	第9回 正副理事長会	-----	8
10月27日(月)	第10回 常務理事会	-----	8
10月27日(月)	第1回 会館建設特別委員会	-----	9

## 今月の会議 & お知らせ

12月20日頃「確定申告の手引き」(税務研究会 発刊 関東信越局版)を組合員あて宅配便にて発送よていです。

11月20日(木)	提携企業との協議会	清水園
11月21日(金)	県連と合同中間監査	事務局
11月30日(日)	常務理事会・地域長会	御苑
12月18日(木)	県連と合同理事会	サンパレス

## 各県税協経理担当役員会議

平成 15 年 10 月 3 日 ラフォーレ清水園にて開催された。

関税協から

理事長、専務理事、常務理事、事務局、各県税協から各県理事長、経理担当が出席し総勢 19 名であった。

テーマ及びその説明者は、下記のとおりです。

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| (1) 関税協の会計について        | 北村常務理事 |
| (2) 関税サービスの会計について     | 中村専務理事 |
| (3) 関東信越税連共済会の会計について  | 半田専務理事 |
| (4) 全税共関東信越地区会の会計について | 半田専務理事 |
| (5) 県税協の会計について        | 大井常務理事 |
| (6) 各県における問題点について     |        |

各テーマにつき与えられた資料を基に、各担当理事がそれぞれの会計について説明を行い大変勉強になりました。

私は、埼税協の経理担当に就任して初めての会議でとても緊張していたような気がします。終了後、他見の方々と話をした時、私だけではなかった洋でしたので安心しました。

(1) から (5) は説明であったが、(6) の問題点では活発な意見が出て驚きました。各県で抱える問題は、それぞれであったが大きな項目でみると同じようであった。地域活動費、事務委託費、交際費、そして消費税が経理上の問題点であり他県ではどのように処理されているか回答を求められました。私は就任したばかりでしたので前経理担当の多い常務と吉田理事長に埼税協としての処理方法を述べてもらい反省としては、この程度は勉強しておくべきであった。

各県とも勘定科目の点では、統一されているようであったが、その中身についてはまだ統一マニュアルがなく、これらが課題となった。

この課題は早々に手がけるべきだと痛感した。

今日、この会議に出席して埼税協のすべき事が少しわかった気がするとともに、埼税協の重要性・埼税協の大きさにも驚いた次第です。

## あんしん財団との協議会

平成 15 年 10 月 14 日 (火) 12 時から、パレスホテル大宮において表記の会議が開催された。当会議は埼税協の新執行部とあんしん財団幹部との顔合わせを兼ね、新規会員獲得キャンペーン(平成 15 年 9 月 20 日～同年 12 月 31 日)に対する協力依頼のため、開催されたものである。

出席者 関税協理事長（あんしん財団評議員） 大手泰治

埼税協

吉田理事長 半田・福島各副理事長 北村・長谷部各専務理事  
戸口常務理事 宮原事務局長

あんしん財団

中井理事長 渡貫常務理事 金子理事 寺田埼玉支局長 堀畑  
支局推進役

会議は、堀畑推進役から事業内容についてその概要の説明と、当キャンペーン期間中の各地域ごとの新規獲得目標数が発表され、協力依頼があった。

### **県連野球・ソフトボール大会**

平成 15 年 10 月 15 日の開催予定が雨天により予備日であった 10 月 17 日快晴となった空の下で開催された。

野球は 5 支部の代表が予定通り参加したが、ソフトボールは延期のため選手が集まらなかったが、10 チームだけの大会になった。

午前 9 時 田代実行委員長の開会宣言で開始し、武田会長より激励の挨拶があり組み合せ抽選で対戦相手が決定され、各グラウンドにおいて 9 時 30 分試合が開始された。

大会に備え練習を重ねたチームが熱戦を繰り広げられた。

結果は野球の部 優勝 川口、準優勝 西川口、第 3 位 川越、第 4 位 大宮 第 5 位 浦和となった。

それぞれの試合、両チーム 10 点以上の得点をあげ、僅かな差で勝敗がきまる均衡した。応援団も熱のこもった楽しいものばかりであった。川口は 9 連覇となる。

ソフトボールの部 優勝 上尾、準優勝 川越、第 3 位 大宮の順であった。

成績発表と優秀選手の表彰の後、福島埼税協副理事長の閉会の挨拶で大会を終了した。

大会運営に携わっていただいた県連、埼税協役員、幹事支部であった熊谷支部の役員の方々、各試合を進行していただいた審判団、事務局の皆様に参加者全員が感謝した楽しい一日であった。

各チームそれぞれ地元での打ち上げで盛り上がったことと思われこの大会で培う健康、親睦、連携を思った。

## 全税共・第 29 回定期総会の結果について

代議員 半田 二百

標記の総会が、宮崎市において開催されました。結果は次のとおりです。

なお、総会に続き行われた懇親会には、提携保険会社等 18 社 69 名、税理士団体関係者 31 名も参加し、懇親が深められた。

- 1 期日 平成 15 年 10 月 17 日 午後 2 時～ 4 時
- 2 場所 宮崎市「ワールド・コンベンションセンター・サミット」
- 3 出席者 全税共役員・代議員、業務推進委員、委員会委員、顧問・相談役、事務局責任者、日税連・日本税務研究センター役員、税協理事長等

### 4 議案

次のとおり上程され、それぞれ可決承認された。

#### ( 1 ) 第 29 期事業報告の承認に関する件

##### ( 概況報告 )

共栄会の事業基盤である保険業界は、ここ数年続いている保有契約高の減少に歯止めがかからないため、収益力の低下が深刻化し、平成 15 年 3 月期決算においては多くの保険会社が内部留保の取り崩しを余儀なくされる等極めて厳しい環境下にある。

こうした情勢の下、主要事業である VIP 大型総合保障制度並びに全税共年金の収納保険料は引続き減少傾向にあり、低迷が続く結果となったが、「税理士 VIP 代理店制度」及び一部保険会社で導入している「VIP 保険料の年払収納」は着実に成果を挙げており、今後、一層の進展が期待されている。

共栄会が出捐母体として設立した財団法人日本税務研究センター並びに財団法人全国税理士共栄会文化財団は、事業目的に沿って活動を行い、広く社会に貢献することができた。

##### 当期における主な事柄

イ VIP 大型総合保障制度並びに全税共年金の収納保険料については、遞減傾向が避けられない結果となった。

- VIP 大型総合保障制度：対前期比 91.2%
- 全税共年金：対前期比 78.6%

ロ 税理士 VIP 代理店制度の伸展を図るため、平成 14 年 6 月～ 11 月を期間として、Z1（代理店化推進）キャンペーン及び Z2（代理店挙績）キャンペーンを実施した。その結果、代理店数は当初目標の 3,000 件を達成し、平成 15 年 7 月には代理店取扱いの収納保険料が月額約 1 億 1 千万円を記録した。

ハ 平成 15 年 5 月 1 日より、団体割引率の引き上げ、医療保険の新設等を主な内容とする所得補償保険の制度改定を実施した。

- ニ 平成 15 年 4 月 1 日より、VIP 大型総合保障制度の提携保険会社として、損保ジャパンひまわり生命保険会社が新たに参入した。
- ホ 「全税共第 17 回全国統一キャンペーン」にあたり、1 地区あたり均等割 100 万円及び VIP 保険料実績割の対策費を支出した。
- ヘ 平成 15 年 7 月に特別業務推進費及び委託費等調整額として、VIP 保険料の実績に応じた金額（総額 1 億 5 千万円）を各地区会に送金した。
- ト 地域文化の普及・振興に寄与するため、財団法人全国税理士共栄会文化財団の行う顕彰、全税共地域文化賞贈呈式において、副賞として 100 万円を贈呈した。

( 2 ) 第 29 期決算報告の承認に関する件

第 29 期における収益口（保険集金事務、情報通信サービス・カード斡旋・共同印刷・健康管理の各事業）及び年金口（年金運営事務）の貸借対照表並びに損益計算書は、それぞれ別紙 1 及び別紙 2 のとおりである。

( 3 ) 役員の補欠選任に関する件

一部地区会より、本定期総会終了時をもって本会役員を変更したい旨の通知があったので、役員選任規則第 9 条の規定に基づき、後任候補者について選任した。

なお、関東信越地区会関係では、関税協専務理事の半田（埼玉）、中村（長野）両名が理事に選任された。

#### 第 4 回 県連総務部会議出席報告

県連総務部第 4 回担当者会議が次のとおり開催された。

日 時 平成 15 年 10 月 21 日（火）正午より午後 2 時

場 所 ベルアンジュ大宮

出席者 （県連）小林副会長、荒井専務、総務部長以下総務部員  
（税協）北村専務、長谷部専務、山口常務

議題及び協議内容

( 1 ) 第 3 8 回定期総会の反省について

各出席総務部員に反省点等の掲示を求め、次のような意見があった。

会場については良かった。

出席割当に問題があるのではないか。

この件につき各支部で割当の実体についての報告がなされた。

平成 15 年度の定期総会は 16 年 7 月 16 日にパレスホテルを予約済。

( 2 ) 平成 16 年新年名刺交歓会について

名刺交歓会開催（案）が提示され、内容の説明と確認があった。

日時：平成 16 年 1 月 13 日午後 3 時より

場所：パレスホテル

内容：式次第案の確認及び越谷支部音楽部のアトラクション、県連・税協の出席者並びに来賓の確認がなされた。

尚、税協の来賓は 120 名位とし、名簿は別途作成する。

会費については、税理士 5 千円、来賓 1 万円の予定

（ 3 ）支部福利厚生担当者会議について

福利厚生事業の 1 つである親睦ゴルフ大会の参加者が激減しており、来年度の実施に関して税協で行っている全税共チャリティゴルフに協力し、一体化したらどうかの案が出された。

開催時期の違い（税協 6 月、県連 9 月）や、全税共との係わり等について再検討をする事とした。

### 県連福利厚生担当者会議出席報告

県連福利厚生担当者会議が次のとおり開催された。

日 時 平成 15 年 10 月 21 日（火）午後 2 時半より

場 所 ベルアンジュ大宮

出席者 （県連）武田会長、小林副会長、荒井専務、渡部総務部長、西川・岩堀  
総務副部長、総務部員及び各支部福利厚生担当者  
（税協）北村専務、長谷部専務、山口常務、戸口常務  
（国保）佐川理事長

議題及び協議内容

出席者の紹介が終わった後議事に入り、その内容は次のとおり

（ 1 ）各支部における福利厚生活動について

各支部の福利厚生担当者から、野球・ソフトボール部の運営状況、歩け歩け大会の運営状況、支部旅行、暑気払いや年末年始の懇親会等についての開催時期、予算、参加状況についての運営状況について報告があった。

（ 2 ）埼税協の福利厚生事業について

戸口常務から埼税協の福利厚生事業についての説明があった。

（ 3 ）国保組合の福利厚生事業について

佐川理事長から国保組合の福利厚生事業について説明があった。

## 新入会員研修開催

平成 15 年 10 月 23 日午前 10 時 30 分から、県連主催による平成 15 年度新入会員一日研修会がベルアンジュ大宮において開催された。午後 2 時 20 分から関連団体の時間が割り当てられ、埼税協はトップバッターとして 15 分の持ち時間で組合の概要と事業内容・提携企業等について、北村専務が説明を行い併せて組合への加入勧奨についても協力方をお願いした。

## 大宮・上尾ブロック別研修会開催

本年度は埼税協の役員及び地域の役員の任期が満了となり、大半が入れ替わったことにより、埼税協とその事業内容を地域役員に理解してもらう事を目的とした研修会を県内 6 ブロックに分けて実施することになり、そのトップをきって大宮・上尾地区で研修会が開催された。

日 時 平成 15 年 10 月 24 日（金）午後 5 時

場 所 清水園

出席者 （執行部）福島副理事長、長谷部専務、生田日常務、戸口常務  
（地域役員）大宮・上尾地域役員 25 名

### 研修内容

執行部挨拶 福島副理事長

埼税協の役割及び運営について 生田日常務

平成 15 年度の各部門の重点施策 長谷部専務

提携企業紹介・福祉共済便覧 戸口常務

関連組織等の概要・費用支弁&まとめ 福島副理事長

質疑応答 20 分間

### 総評について

6 ブロックの最初の研修会で状況がよく判らなかったために、各研修項目で予定した時間の配分に違いが生じた事と研修会の主体が地域にあるのか、埼税協にあるのか明確でなかったところに反省点はあったが、費用支弁のないよう説明により埼税協事業から受ける恩恵が判ってもらえ、質疑応答においても大変熱心で時間が足りない程の質問があり、全体としては大変効果のあった研修会であった。

## 第9回 正副理事長会

平成15年10月27日(月)午前9時45分から税理士国保会館において、表記の会議が開催された。議題は次のとおりである。

### 1 常務理事会提出議案について

本日 10時半から開催される第10回常務理事会に提案する次の項目について協議をした。

(1) 会館建設特別委員会の運営について

(2) BIG6との協議会について

(3) 地域ブロック別研修会について

(4) 提携企業との協議会について

### 2 会館建設特別委員会について

第4回 理事会(書面)において、委員会規約一部改正で委員の人数を8名以上30名以内とする案と委員会構成24名のメンバーも原案どおり承認されたのを受けて、本日12時から開催される第1回本委員会の運営等について協議した。なお、構成メンバーは次のとおり

### 3 BIG6との協議会について

本日16時45分から開催される大手生保6社との協議会の運営等について協議した。

## 第10回 常務理事会について

日時 平成15年10月27日(月)午前10時30分より

場所 国保会館

司会 長谷部専務理事

議題

### (1) 会館建設特別委員会の運営について

半田副理事長より、本件についての書面による第4回理事会決壊について報告と説明あり

埼税協委員会規約一部改正

賛成62 否1 未回答4

会館建設特別委員会の委員について

賛成 6 2 否 1 未回答 4

委員は次のとおり

( 執行部 )

副理事長	半田二百	長嶋伸治	赤塚鉄男	福島 昭
専務理事	北村眞治	長谷部信行		
常務理事	山口重幸 ( 総務担当 )		吉田悦実 ( 経理担当 )	

( 地域 )

川 越	-----	佐藤信司	熊 谷	-----	横村又彦	川 口	-----	柳澤昭子
西川口	-----	内林資喬	浦 和	-----	柿沼義雄	大 宮	-----	生形雅美
行 田	-----	秋山元胤	秩 父	-----	吉村 寛	本 庄	-----	黒澤彰忠
東松山	-----	小河八郎	春日部	-----	寺門孝彦	上 尾	-----	簗島義宣
越 谷	-----	蟹和忠夫	朝 霞	-----	坂本三郎			

( 参考 )

県連副会長 池田喜八郎 県連専務理事 荒井忠男

特別委員会の中に次の検討小委員会を設置すること

資金調達検討小委員会	入居団体・所有形態検討委員会
建設構想検討小委員会	総務小委員会

( 2 ) B I G 6 との協議会について 開催要項の検討、協議

( 3 ) 地域ブロック別研修会について

( 4 ) 提携企業との協議会について 15.11.20 ( 木 ) 清水園にて開催

( 5 ) その他

平成 16 年新年名刺交歓会の実施 ( 県連との合同 ) について..... 場所、メンバー

## 第 1 回 会館建設特別委員会の結果等について

日時 平成 15 年 10 月 27 日 ( 月 ) 正午より

場所 国保会館

司会 北村専務理事

議題

( 1 ) 委員長・副委員長、委員の選任について、次のとおりに決定

委員長	副理事長	半田二百
副委員長	〃	赤塚鉄男
〃	〃	福島 昭
委員	〃	長嶋伸治

”	専務理事	北村真治
”	”	長谷部信行
”	常務理事	山口重幸(総務担当)
”	”	吉田悦実(経理担当)
”	川越地域長	佐藤信司
”	熊谷地域長	横村又彦
”	川口地域長	柳澤昭子
”	西川口地域長	内林資喬
”	浦和地域長	柿沼義雄
”	大宮地域長	生形雅美
”	行田地域長	秋山元胤
”	秩父地域長	吉村寛
”	本庄地域長	黒澤彰忠
”	東松山地域長	小河八郎
”	春日部地域長	寺門孝彦
”	上尾地域長	簗島義宣
”	越谷地域長	蟹和忠夫
”	朝霞地域長	坂本三郎
”	県連副会長	池田喜八郎
”	県連専務理事	荒井忠男

(2) 小委員会の編成について、次のとおり決定

注：当日の「会館取得に関する資料集」を中心に詳細な説明あり

第1回 会館建設(小)委員会 県連との合同会議

日時 平成15年10月27日(月)午後2時～午後4時30分

場所 国保会館

議題

(1) 会館建設について

小委員会ごと集まり、委員長を中心に検討を進める。

## お問い合わせ先

埼玉県税理士協同組合(事務局)

TEL048(643)2521

FAX048(645)8335

E-mail [info@szeikyo.com](mailto:info@szeikyo.com)